

## 学校長あいさつ

鏡が丘特別支援学校ホームページにアクセスいただき、ありがとうございます。

令和8年度も引き続き本校校長を務めさせていただきます津波佳和（ツハヨシカズ）と申します、どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、昭和40年4月に沖縄県初の肢体不自由養護学校として開校し、令和8年度で開校61年目を迎える肢体不自由特別支援学校です。今年度は、児童生徒97名が在籍しており、寄宿舎生11名、訪問学級生15名が学んでいます。通学範囲は、沖縄本島の北は宜野湾市・中城村から、南は那覇市に至り、スクールバス（2台）や保護者による送迎、移動サービス等を利用して通学しています。

校門から校舎入口にかけて建立された石碑には、校訓「すこやか」の文字が刻まれており、子どもたち一人一人が日々の学習に真摯に取り組む姿や笑顔に、「健やかな成長」への願いが込められています。朝の玄関では、子どもたちや教職員、登校に関わる方々の明るい挨拶が交わされ、学校生活の始まりに活気と楽しさがあふれています。本校では、めざす児童生徒像として次の5つを掲げています。

- ① 健康（明るく元気でたくましく）
- ② 主体（考え、自ら学び行動できる）
- ③ 自律（困難を克服しようと努力する）
- ④ 自立（最後までねばり強く頑張る）
- ⑤ 協力（仲良く思いやりがある）

これらを基に、児童生徒一人一人が個性豊かに、明るくたくましく生きる「生きる力」を育み、自立と社会参加をめざした教育を、全職員が一丸となって推進しています。

特に本校では、子どもたちが「できることを、できる方法で表現し、活動につなげる」学習を大切にしています。学校の外で人との関わりにしり込みする児童生徒が多い中、昨年度は、日頃の校内での学びを地域へと広げ、自治会の小学生や社会福祉協議会の高齢者の方々との交流を行い、人に「やってあげる」活動を通して、人に感謝されることを味わい、それが自信となり次の意欲につながる経験を行っています。このような活動を通して、地域や社会と積極的に関わりながら、自立に向けた社会参加の機会をさらに充実させていきたいと考えています。今後も、地域・社会に開かれた学校をめざし、本校の教育活動を推進してまいります。本校ホームページを通して、子どもたちの健やかな成長を見守り、応援していただければ幸いです。引き続き、本校の教育へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和8年4月

校長 津波 佳和